

# 第 4 章

## 開 講 科 目

### 【目 次】

1. 2013年度開講科目一覧
2. 開講科目
  - (1) テキスト科目、オンデマンド科目
  - (2) スクーリング科目
  - (3) 資格科目 (演習・実習科目)
3. 2013年度スクーリング科目開講日程
4. 2013年度科目修了試験日程
5. 2013年度学年暦 (学習スケジュール)

## 1. 2013年度開講科目一覽

科 目 名 <科目の種類欄の表示>	単 位 数	科 目 の 種 類	学 年 配 当	指 社 会 福 祉 目 士	指 精 神 定 保 健 福 祉 目 士	学 費	
						合 単 位 授 業 計 料	受 ス ク ー リ ン グ
<b>基礎科目</b>							
福祉経営序論 (オンデマンド版)	1		1				5,300
スタートアップセッション (オンデマンド版)	1		1				5,300
経営学	4	T	1				21,200
経済学	4	T	1				21,200
簿記	2	T	1				10,600
民法	4	T	1				21,200
日本史	4	T	1				21,200
生物学	2	T	1				10,600
福祉社会入門	2		1				10,600
実践英会話	2		1				10,600
英語プレゼンテーション	2		1				10,600
インターネット演習	2		1				10,600
インターネット演習	2		1				10,600
社会福祉学	4		1				21,200
社会学	2		1				10,600
心理学	2		1				10,600
医学概論	2		1				10,600
社会福祉調査論	2	T	1				10,600
<b>専門科目</b>							
マーケティング	4	T	1				21,200
財務会計	4	T	1				21,200
管理会計	2	T	1				10,600
企業ファイナンス	4	T	1				21,200
労働法 (10月開講)	4	T	1				21,200
産業心理学	4	T	1				21,200
経営組織と戦略	4	T	1				21,200
ベンチャー経営	4	T	1				21,200
環境ビジネス	4	T	1				21,200
人的資源管理	4	TO	1				21,200
医療福祉ビジネス	2		1				10,600
NPO論	4	T	1				21,200
コミュニティマネジメント	4	T	1				21,200
地域環境計画	4	T	1				21,200
国際開発	4	T	1				21,200
環境と開発	4	TO	1				21,200
国際福祉開発	2		1				10,600
福祉社会開発の支援ワーク	1		1				5,300
福祉社会システム論	4	T	1				21,200
医療政策論	4	T	1				21,200
医療経済学	2	T	1				10,600
医療福祉経営論	4	T	1				21,200
医療・福祉サービス論	2	T	1				10,600
非営利マーケティング論	4	T	1				21,200
非営利組織会計	4	T	1				21,200
社会福祉援助技術論	4		1				21,200
社会福祉援助技術論	4		1				21,200
社会福祉援助技術論	4		1				21,200
地域福祉論	4		1				21,200
福祉行政と福祉計画	2	T	1				10,600
福祉経営論	2		1				10,600
社会保障論	4		1				21,200
高齢者に対する支援と介護保険制度	4		1				21,200
障害者福祉論	2		1				10,600
児童福祉論	2		1				10,600
公的扶助論	2		1				10,600
保健医療サービス	2		1				10,600
就労支援サービス	1		1				5,300
権利擁護と成年後見	2		1				10,600
更生保護	1		1				5,300
福祉文化論	2	T	1				10,600
死とこころの科学	2	T	1				10,600
生涯学習論	2	T	1				10,600
高齢者の心理	2	T	1				10,600
健康格差社会	2	T	1				10,600
シルバーファイナンス (10月開講)	2	T	1				10,600
スポーツマネジメント	2		1				10,600
福祉情報技術	2		1				10,600

科 目 名 <科目の種類欄の表示>	単 位 数	科 目 の 種 類	学 年 配 当	指 社 会 福 祉 目 士	指 精 神 定 保 健 福 祉 目 士	学 費	
						合 単 位 授 業 計 料	受 ス ク ー リ ン グ
<b>専門科目</b>							
リハビリテーション医学	2		1				10,600
障害児心理学	2		1				10,600
精神医学	4	T	1				21,200
精神保健学	4	T	1				21,200
精神保健福祉相談援助の基盤	4	T	1				21,200
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	4	T	1				21,200
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	4	T	1				21,200
精神保健福祉に関する制度とサービス	4	T	1				21,200
精神障害者の生活支援システム	2	T	1				10,600
フィナンシャルプランニング総論	1	T	1				5,300
金融資産運用設計	2	T	1				10,600
不動産運用設計	2	T	1				10,600
ライフプランニングと資金計画	2	T	1				10,600
リスク管理と保険	2	T	1				10,600
タックスプランニング	2	T	1				10,600
相続・事業承継設計	2	T	1				10,600
フィナンシャルプラン作成	1		1				5,300
<b>基礎科目</b>							
福祉経営序論	1	S	1				5,300 5,000
スタートアップセッション	1	S	1				5,300 5,000
フォローアップセッション	1	S	1				5,300 5,000
障害者スポーツ研究	2	S	3				10,600 5,000
<b>専門科目</b>							
レポート・研究入門	2	S	1				10,600 5,000
論文作成基礎	1	S	1				5,300 5,000
論文作成基礎	1	S	1				5,300 5,000
研究論文指導	4	S	4				21,200 50,000
日本企業の経営・会計	2	S	1				10,600 5,000
ビジネス文書とプレゼンテーション	1	S	1				5,300 5,000
地域再生	2	S	1				10,600 5,000
国際開発と貧困問題	2	S	1				10,600 5,000
福祉の歴史	2	S	1				10,600 5,000
社会福祉政策国際比較	2	S	1				10,600 5,000
社会福祉と権利擁護	2	S	1				10,600 5,000
社会福祉法人のマネジメントと会計	2	S	1				10,600 5,000
医療福祉システムの理論と実践	2	S	1				10,600 5,000
医療福祉制度と暮らし	2	S	1				10,600 5,000
地域医療と福祉の統合	2	S	1				10,600 5,000
高齢者福祉分野の経営戦略	2	S	1				10,600 5,000
ソーシャルワークと専門職	2	S	1				10,600 5,000
介護ビジネス論	1	S	1				5,300 5,000
子どもと青年の育ちの支援	2	S	1				10,600 5,000
社会保障の制度と課題	2	S	1				10,600 5,000
認知症ケアとスーパービジョン	2	S	1				10,600 5,000
ケアマネジメント入門	2	S	1				10,600 5,000
福祉現場の人材養成	2	S	1				10,600 5,000
スクールソーシャルワークと学校現場	2	S	1				10,600 5,000
精神障害者と福祉実践	2	S	1				10,600 5,000
精神障害者と福祉実践	2	S	1				10,600 5,000
障害者政策と自立支援	2	S	1				10,600 5,000
高齢者の財産管理	2	S	1				10,600 5,000
超高齢社会と老後リスク管理	2	S	1				10,600 5,000
福祉とテクノロジー活用	2	S	1				10,600 5,000
痛みとリハビリテーション	2	S	1				10,600 5,000
ユニバーサルデザインと暮らし	1	S	1				5,300 5,000
長寿社会のライフプラン	2	S	1				10,600 5,000
<b>フィールドスタディ科目</b>							
スウェーデン研修	4	S	1				21,200 (注1)
相談援助演習	(2)	TS	3				10,600 10,000(注2)
相談援助演習	(4)	TS	3				21,200 10,000(注2)
相談援助演習	(4)	TS	4				21,200 10,000(注2)
相談援助実習指導	(3)	TS	3				15,900 10,000(注2)
相談援助実習指導	(3)	TS	4				15,900 10,000(注2)
相談援助実習	(4)	J	4				21,200
精神保健福祉援助演習	(6)	TS	4				31,800 10,000(注2)
精神保健福祉援助実習指導	(6)	TS	4				31,800 10,000(注2)
精神保健福祉援助実習	(5)	J	4				26,500

(注1) 渡航費等の研修費用 (350,000円程度) ががかかります。

(注2) スクーリング受講料 (5,000円) とクラス制科目受講料 (5,000円) の合計金額です。

( )の単位は、卒業単位に含まれません。

スクーリング科目は、第4期出願 (科目等履修生・特修生) の場合、履修できない場合があります。

学年配当は、その学年以上であれば履修が可能です。例えば学年配当が1年生の科目は、1年生～4年生まですべての学年で履修可能です。

## 2. 開講科目

以下の開講科目の内容については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
また、各科目の詳細については本学ホームページ <http://www.nfu.ne.jp/> においてご覧になれます。

### 凡 例

- 社** 社会福祉士国家試験受験資格指定科目
- 精** 精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目
- A** AFP 資格試験受験資格指定科目
- 必** 必修科目（オンデマンド科目、スクーリング科目いずれかを履修）

### (1) テキスト科目、オンデマンド科目

#### 【基礎科目】

科 目 名	福祉経営序論 (オンデマンド版) <b>必</b>	単 位 数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	新谷司		
通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体的見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。					
科 目 名	スタートアップセッション(オンデマンド版) <b>必</b>	単 位 数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	学習指導講師		
学習を円滑に始められるように、学習方法や学習計画の立て方などについて学ぶ。 講義目的は、以下の3つがあげられる。 開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。 単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、オンデマンド講義の視聴方法、添削課題・小テスト・科目修了試験への取り組み方を知る。 卒業までを念頭においた学習計画を立てる。 正科生・特修生のみ履修可能					
科 目 名	経営学	単 位 数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
企業経営の基礎を理解するには、組織マネジメントという視点にたつて、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスをおさえるとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスにも留意することである。企業と環境、組織の構造と過程、組織の変革といった企業経営の中心課題をみたらうで、医療・福祉、環境ビジネスなどといった分野のマネジメントの問題を認識していく枠組みを学ぶ。さらに、21世紀の産業経営の将来ビジョンとして示されている社会貢献型経営についても検討し、企業経営のあり方についても考察する。					
科 目 名	経済学	単 位 数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	谷地宣亮、鈴木健司		
一般の営利企業のみならず医療・福祉施設の行動を理解するには、希少な資源の効率的配分を研究対象とする経済学の知識が不可欠である。また地域開発にとっても経済学が有用な情報を与えることはいうまでもない。本講では、経済理論を理論としてだけ学ぶのではなく、企業ならびに家計の行動についての具体的なケース分析を通して、経済学の基本的な考え方を習得する。また、社会人学生のもつ実践的な要求にも応えることを考慮し、医療・福祉施設といった非営利組織についても詳しくとりあげる。					
科 目 名	簿記	単 位 数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	新谷司		
簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理記述である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、商品売買業を営む個人商店における諸取引の仕訳と一連の決算手続きについて習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。					

**必**：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

科目名	民法	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	近藤充代			
民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律であるが、本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割の理解と法的な思考方法の修得をめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（行為能力制度、意思表示等）、契約法の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習し、さらには特定商取引法、割賦販売法などの民法特別法についても理解を深めたい。						
科目名	日本史	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	曲田浩和			
これまで中学校・高等学校の教科書などで学んできた、わたしたちの日本史像は、最近大きく書き換えられようとしている。飛躍的に増大した発掘調査を背景とした考古学の発展、主として近世・近代の地域史研究の中で確認された新たな史料（古文書）に基づく新しい問題提起、これまでは異なる視点での既存史料の読み直しなどが進んでいるからである。この新しい到達点を踏まえた日本史像を、受講生諸君とともに追及してみたい。通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（参考文献の紹介を含む）を主要教材とするが、それを補強する多様な教材を用意する。						
科目名	生物学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	水野暁子			
生物の基本構造である細胞膜を中心として、生物らしい構造と機能について理解する。特に、人間とは違った構造を持つ植物について、成長、水や養分の吸収、情報伝達などの生理的機能と、細胞や組織の構造との関わりについて詳しく学習する。植物がどのような構造と機能を基にして、環境に対する適応や反応を行っているかを認識することで、酸性雨などの環境問題について考えることができるような、基礎的な力をつける。						
科目名	福祉社会入門	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	足立浩			
「福祉」という言葉は「しあわせ」を意味する。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味である。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きていくことを支える社会である。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要がある。これを日本福祉大学では「人間福祉複合」と呼んでいる。「福祉社会入門」では、「人間福祉複合」の観点から「福祉」への接近について学ぶ。						
科目名	実践英会話	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	烏山逸雄			
看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけでなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。英語レベルは英語 を想定。単語数は1500語レベル。						
科目名	英語プレゼンテーション	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	烏山逸雄			
学習者に関連の深い事柄を簡単平易な英語表現で説明できるようにする。特に福祉、看護に関する事柄を英語で語れるようにする。日本の施設に海外からの訪問者があったとき、最低限の情報を与えることができると同時に、福祉に関する基本情報を語れるようにする。単語英語レベルは2000語レベルを適用。英検準2級レベル。						
科目名	インターネット演習	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	烏山逸雄			
パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学習する。具体的には、ワープロ、表計算ソフトの基本的な活用の他、画像の取り扱い、ネットワークを用いたコミュニケーションなどを取り上げる。基本的な事項を確実におさえることにより、道具として適切に、安心して、自分なりのスタイルで有効に活用していくことができるようになることを目指す。						
科目名	インターネット演習	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	烏山逸雄			
情報を正確に、スマートに相手に伝える。これがこの科目のテーマである。日本人は思いこみが強く、情報伝達が下手だといわれるが、方法さえわかれば効果的な情報伝達が可能である。話す組立を考え、効果的な図やグラフを使い、さらには伝達力ある話し方のポイントを学ぶ。職場や学校での魅力あるプレゼンテーションは今後ますます重要になってくる。これを機会にその手法を是非、身につけてほしい。						
科目名	社会福祉学	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	木全和巳		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 ・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。</li> <li>・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 ・福祉政策の課題について理解する。</li> <li>・福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。</li> <li>・福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む）の関係について理解する。 ・相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。</li> </ul>						
科目名	社会学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	山口宏		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会学論による現代社会の捉え方を理解する。 ・生活について理解する。 ・人と社会の関係について理解する。 ・社会問題について理解する。</li> </ul>						

科目名	心理学	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	矢崎裕美子		
<p>・心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。 ・人の成長や発達と心理との関係について理解する。          ・日常生活と心の健康との関係について理解する。 ・心理的支援の方法と実際について理解する。</p>						
科目名	医学概論	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	日月裕		
<p>・心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長や発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。          ・国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要について理解する。 ・リハビリテーションの概要について理解する。</p>						
科目名	社会福祉調査論	社	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	訓覇法子、川床憲一		
<p>社会調査の歴史は長く、1800年代後半から1900年代初めにかけてのヨーロッパの貧困調査に遡り、実践及び科学としての社会福祉と重要な接点を持つ。広範囲で複雑な社会現象を調査し、分析するには多数の学際的科学を必要とするため、社会福祉分野の調査・研究には、多角的視野や複合的調査・研究方法論、分析理論が必要となる。国家試験受験資格指定科目に加えて、科学としての社会福祉を考察し、調査・研究に必要な基礎知識を習得することを目的とする。「論文作成基礎」や「論文作成基礎」のために重要な入門的科目「レポート・研究入門」を履修しようとする人にとって最低限必要な基礎科目であり、履修を勧める。</p>						

### 【専門科目：ビジネスマネジメント科目群】

科目名	マーケティング		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	小木紀親		
<p>マーケティングとは、企業による創造的かつ独占的な市場獲得戦略である。講義では、そうした企業の様々なマーケティング戦略や市場における多様なマーケティング的現象を、とりわけ、製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略などの絡みで論じていく。また、基本的なスタンスとしては、現代市場の現実的側面にスポットを当てつつ、生活者の視点からマーケティング現象をとらえることを意識したい。</p>						
科目名	財務会計		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	新谷司		
<p>財務会計とは、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。「会计学」の発展科目として位置づけられる本講「財務会計」では、日本の会計制度に基づいて、会計規制の体系、財務諸表の様式とその意義、固定資産会計、繰延資産会計、引当金会計、費用・収益の認識基準、財務諸表の監査、連結財務諸表、ディスクロージャーの拡大化などを取り上げる。</p>						
科目名	管理会計		単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	内野一樹		
<p>管理会計とは、通常、企業の内部で利用される会計で、主に戦略・計画と統制、または意思決定と業績管理に役立つ会計であると説明できる。戦略・計画または意思決定に役立つ会計とは、戦略や計画の意思決定に必要な情報を、経営者または管理者に提供する会計である。一方統制または業績管理に役立つ管理会計とは、管理者の行動に影響を与えるための目標設定や実績評価に役立つ情報を経営者または管理者に提供する会計である。こうした管理会計は、企業（営利組織）はもちろん、病院や福祉施設等の非営利組織でも利用されている。</p>						
科目名	企業ファイナンス		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	津森信也		
<p>企業ファイナンスは企業経営のみならずすべての企業人にとり必須の知識であることは欧米においては常識であるが、日本でもようやく認識されるに至っている。また、その基本は営利経営のみならず非営利経営においても特に変わるものではない。組織の運営には資金が不可欠であり、資金が不足すれば最終的には組織は成立し得ない。資金不足は経営の問題でもあるから企業ファイナンスは企業経営と多くの点において共通する。そこで、企業活動における資金という観点から基本を理解し、次第に現代ファイナンス理論の実務面への応用を中心に進めることになる。理論に偏ることはない。内容的には、資金の調達運用の実務知識、企業のリスク管理、キャッシュフローとその割引現在価値、デリバティブ等を理解し、価値創造経営と企業分析手法を中心に応用編を学ぶ。</p>						
科目名	労働法		単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	青山幸司		
<p>技術革新や経済動向の変化、産業構造の変化、社会構造の変化などの様々な要因により、労働者の置かれる環境は常に変化を繰り返してきた。今もその変化の波は押し寄せている。労働法もその変化に対応すべくその姿を変えてきた。労働基準法は制定されてから幾度も改正を繰り返している。近年では、均等法の大規模な改正がなされたし、労働契約法も制定された。労働者派遣法の改正も近日行われる。この変化し続ける労働法の「今」を切り取り、これを知ること、「今」につながる過去を知ることがこの講義の目的である。そして「今」は、未来につながるものであり、その未来においてあるべき労働法の姿もそこから思いいたすことができるだろう。本講義は、これまでに蓄積された労働法の判例、学説について学び、労働法の基本的な知識、基本的な考え方を学ぶ場として利用してほしい。</p>						

科目名	産業心理学	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	竹下隆		
<p>激しく変わる現代社会の様相は一つの時代の終わりを示している。産業革命以来の企業社会成立の基本が限界に来ているからだ。エネルギーと地球の限界である。産業心理学は、この限界にかかわる産業構造の理解と人間行動の分析、そして新しい未来社会設計条件の人間の役割を検証する学問である。情報化社会を始め高齢化社会、異文化共生、女性の就業意欲、地球環境保全など未来図対応の多くの課題を、企業組織と人間の関係で捉える必要性はますます現代企業社会に迫っている。地球の限界を配慮した本当の福祉社会未来図設計と一人一人のライフスタイルの展望をトピカルに捉え、人は何のために生き、何のために働くかの一角を追求しよう。</p>					
科目名	経営組織と戦略	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	張淑梅		
<p>本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について実例を交えて論じていく。</p>					
科目名	ベンチャー経営	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	柳在相		
<p>まずは日本におけるベンチャー企業を取り巻く経営環境に着目し、とりわけアメリカとの比較を通して、いかにしてより多くのニュービジネスを生み出すかについての議論を展開する。そして、セコムやヤマト運輸などのような目覚ましい成長をおさめているベンチャー企業に焦点をあて、その創業から今までの成長プロセスを詳細に考察していく。これらのベンチャー企業の成長プロセスにはどのような阻害要因が存在し、それぞれの阻害要因をいかにして克服することができたかに注目することによって、ベンチャー企業の経営（企業家精神及び戦略的発想、事業仕組の構築、組織デザインなど）についての理解を深めていきたい。</p>					
科目名	環境ビジネス	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	向井征二		
<p>21世紀は環境の世紀といわれるが、営利・非営利を問わず、いかなる事業体にとっても環境は、それを抜きにしては経営戦略が成り立たない程の最も重要なキーワードになっている。利害関係者への経営情報開示とコミュニケーション、環境配慮型製品設計、グリーン調達、環境汚染防止への企業の社会的責任など、環境を軸に事業展開する場合に求められる諸要素を、ISO規格など環境関連の国際的規範を交えて検討するとともに、内外の環境ビジネスの事例を研究する。</p>					
科目名	人的資源管理	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目
		担当教員	関口和雄		
<p>企業経営にあっては、人づくりを経営の基本に位置づけ、人的資源のパワーアップと有効活用をはかることを重点施策として取り組んできた。病院や福祉分野のヒューマン・サービス組織においても、人的資源のマネジメントが最も重要な問題だという認識となっている。人的資源管理システムの枠組みを学んだうえで、働くことの意味仕事への動機づけ仕事へのコミットメントといった中心にある問題を考察し、さらに上司や同僚との対人関係をふくめた職場マネジメントについても学んでいく。</p>					
科目名	医療福祉ビジネス	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	後藤芳一		
<p>社会構造や消費者意識の変化が進み、医療・福祉事業をめぐるニーズは、かつてない速さで変化している。国も、財政制約の下でサービスの質を維持するよう模索している。これを受け、制度の改革が急速に進んでいる。一方、従来の医療・福祉事業は、公的制度のもとで収入が保障され、外的環境に受け身で対応する傾向があった。今後は、固有の環境を踏まえた経営のあり方が事業の存続を決める。それには、サービス提供者として受け手から支持されるよう、経営を組み立てる必要がある。本講は、医療・福祉サービスの専門家が、自ら状況を判断して進路を構築できるよう、経営の基本的な枠組を整理する。</p>					

## 【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力科目群】

科目名	NPO論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦		
<p>従来、政府機関や企業の陰に隠れ、マイナーな存在でしかなかった民間非営利組織の独自の性格と社会的役割について考える。中心的な問題関心は、なぜ民間非営利組織が必要なのかということであり、高度成長期以後の日本の社会運営のあり方、とくに公益性の判断や担い手という点に着目する。公益法人等の他、NPOといわれる特定非営利活動法人や一般の市民団体について、企業や行政との関係、国際比較等の視点から考察する。</p>					
科目名	コミュニティマネジメント	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	生江明		
<p>この科目では、内外の様々なコミュニティマネジメントの事例を通して、コミュニティとは何であるのか、そしてそのマネジメントとはいかにあるべきなのかを考察する。社会的存在である人間たちが、そのより良き人生の実現のために自然と社会資源をいかに組織化し、豊饒化していくかというプロセスは、行政サービスの客体としての人間ではなく、コミュニティのマネジメント主体としての人間たちをこれらの事例の中に、そしてその社会哲学の中に見出すことになるだろう。</p>					

科目名	地域環境計画	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	阿蘇裕矢		
人間の生活と環境について考察し、その調和を図っていくためのマネジメント方針について論ずる。特に、コミュニティレベルから、都市・農村、地域空間レベルにおける環境問題に着目し、主としてこれまでに行われてきた環境計画の方法を学ぶとともに、人間にとって求められる環境のあり方について歴史的な考察を行う。さらに、空間のレベルや環境の特性に合わせた環境計画の手法、施策、政策等について論じ、これからの環境計画のめざすべき方向、主体間の連携や合意形成等のあり方について考察する。					
科目名	国際開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	雨森孝悦、穂坂光彦		
この科目では、発展途上国の開発と開発協力について学習する。始めに「開発とは何か」「これまでどのような開発戦略がとられてきたか」という基本的な問いから入り、貧困、環境、ジェンダー、住民参加などの重要な視点から開発について学習する。次いで経済開発や社会開発の諸分野を個別に学び、さらに開発に関わる国際協力について学んだ後、グローバル化が進展する中での国際開発の将来方向について考える。					
科目名	環境と開発	単位数	4単位	科目形態	テキスト・オンデマンド併修科目
		担当教員	斎藤千宏		
1990年代は、国際社会で持続可能な発展 (sustainable development) が唱導された10年間であった。本科目では、地球温暖化防止、生物多様性の保全という21世紀において決定的に重要になる二つの課題に対して、各国政府や国連、多国籍企業、地方自治体、NGO・NPOがどのような取り組みをしているのか、具体的な事例を通して考察を進める。また途上国民衆の視点から、持続可能な発展に向けての市場メカニズムの活用が、どのように効果的に機能するか(しないのか)についての分析を加える。					
科目名	国際福祉開発	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	斎藤千宏		
人々の福祉が高まるためには、政府行政、市場制度、地域社会の住民力、NGO/NPOなどの市民力が効果的に影響しあうことが必要であるとの視点に立ち、途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ。					
科目名	福祉社会開発の支援ワーク	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	穂坂光彦、吉村輝彦		
「福祉社会開発支援ワーカー」は、地域社会に働きかけ、新たな福祉プログラムが開発される方向へ地域社会の関係変容を促す「コミュニティ変化の触媒役 change agents」である。専門職として確立されずに多様な立場の人々に実質的に担われているとはいえ、この役割を果たすには、やはり固有のスキルが必要である。しかしその方法論が確立しているとはいえない。この科目では、既存のソーシャルワークの到達点と限界を踏まえ、新たな方向性へのキーワードを広義の「まちづくり」ととらえる。そして現場の生きた素材を基に、さまざまな既存の専門職がどのような発想とスキルによって「地域」にアプローチしたかを、受講者に考えさせる。いくつかのロールモデルに関する議論を通じて、受講者自身の主体形成を促すのが目的である。					

## 【専門科目：医療・福祉マネジメント科目群】

科目名	福祉社会システム論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	訓覇法子		
講義の目的とレベルは二つである。1) 世界先進国における社会政策の国別による分類(モデル)を軸にして、国際比較研究的視点から日本の福祉社会システムを社会的に考察するとともに、方法論的に分析する。2) 高齢者人口の増加により、世界の先進国が高齢者社会に直面する現在、福祉国家・社会システム分析において介護国家・介護社会というあらたな概念が必要とされる。したがって、介護社会としての日本の社会システムの現状分析を課題として、国際比較研究的視点から有意義と思われる概念や理論の考察を行う。					
科目名	医療政策論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	李忻		
わが国の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設など、患者の自己決定やQOL(生活の質)の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、戦後の医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。					
科目名	医療経済学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	大内講一		
少子・高齢社会の日本は、保健医療システムの転換期にある。医療政策の観点からすると、医療保険財政が厳しさをくわえるなかで「効率」かつ「公正」な医療供給システムを、どのようにして構築していくかが問われている。また、医療の従事者や経営者の視点でみるならば、医療保険システムの変革期は新たなビジネス・チャンスをつかむ好機でもある。本講では、希少資源の効率的な配分を重視する経済学の視点から、医療施設の供給行動、家計の医療需要行動、および保険者の役割について解説・評価する。また、「効率」かつ「公正」な医療サービス供給を実現するのに必要な政策について論じる。					

科目名	医療福祉経営論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	中島明彦			
医療福祉施設の経営は企業の経営理論をそのまま当てはめようとしても困難である。その理由は医療福祉サービスの持つ専門性や公共性という特性、サービスを提供する専門職の自律性、組織が専門職組織であること、事業が制度や政策に大きく依存することなどがあげられる。本講ではこれらを踏まえて医療福祉経営の基本的視座を提供しようとする。						
科目名	医療・福祉サービス論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	近藤克則			
本講義では、医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ。健康に関連するQOL (Quality Of Life、生活・人生の質) や、国際生活機能分類 (ICF)、ケアマネジメント、チームマネジメント、福祉事業者、政策レベルまで取り上げる。これらすべてにおいてマネジメントの考え方が有用であること、一方で医療福祉における特性を学ぶ。						
科目名	非営利マーケティング論	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	井上崇通			
非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。						
科目名	非営利組織会計	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	新谷司			
現代社会では営利企業とは異なった民間非営利領域での事業活動が重要となっているが、そこでの管理や会計が十分に確立されているわけではない。企業会計は営利事業の経営成績を測定することを主たる課題としてきたが、このような企業会計の測定とディスクロージャーを土台としながら、非営利事業の特質を反映する会計の構造と特徴、およびそのあり方を、社会福祉法人会計や協同組合会計などを事例として論じる。						
科目名	社会福祉援助技術論	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について理解する。</li> <li>・精神保健福祉士の役割と意義について理解する。 ・相談援助の概念と範囲について理解する。</li> <li>・相談援助の理念について理解する。 ・相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。</li> <li>・相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。 ・総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する</li> </ul>						
科目名	社会福祉援助技術論	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	安藤健一		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ・相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。</li> <li>・相談援助の過程とそれに係る知識と技術について理解する（介護保険法による介護予防サービス計画、居宅サービス計画や施設サービス計画及び障害者自立支援法によるサービス利用計画についての理解を含む）。</li> </ul>						
科目名	社会福祉援助技術論	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	小松尾京子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助における事例分析の意義や方法について理解する。 ・相談援助の実際（権利擁護活動を含む）について理解する。</li> </ul>						
科目名	地域福祉論	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	野口定久、平澤恵美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む）について理解する。</li> <li>・地域福祉の主体と対象について理解する。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。</li> <li>・地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む）の意義と方法及びその実際について理解する。</li> <li>・地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む）について理解する。</li> </ul>						
科目名	福祉行財政と福祉計画	社精	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	田嶋香苗		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の行財政の実施体制（国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む）について理解する。</li> <li>・福祉行財政の実際について理解する。 ・福祉計画の意義と目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>						
科目名	福祉経営論	社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	関口和雄、元岡征志		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスに係る組織や団体（社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など）について理解する。</li> <li>・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について理解する。 ・福祉サービスの経営と管理運営について理解する。</li> </ul>						



科目名	社会保障論	社精	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	李忻		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における社会保障制度の課題（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む）について理解する。</li> <li>・社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。・公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</li> <li>・社会保険制度の体系と概要について理解する。・年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。</li> <li>・諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</li> </ul>						
科目名	高齢者に対する支援と介護保険制度	社	単位数	4単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	杉本浩章		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉、介護需要（高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む）について理解する。</li> <li>・高齢者福祉制度の発展過程について理解する。・介護の概念や対象及びその理念等について理解する。</li> <li>・介護過程における介護の技法や介護予防の基本的考え方について理解する。・終末期ケアの在り方（人間観や倫理を含む）について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>						
科目名	障害者福祉論	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	(調整中)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉や介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。</li> <li>・障害者福祉制度の発展過程について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる障害者自立支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>						
科目名	児童福祉論	社	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	安藤健一		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要（子育て、一人親家庭、児童虐待及び家庭内暴力（D.V）の実態を含む）について理解する。・児童や家庭福祉制度の発展過程について理解する。・児童の権利について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。</li> </ul>						
科目名	公的扶助論	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	明星智美		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。</li> <li>・自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。</li> </ul>						
科目名	保健医療サービス	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	牧野忠康		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む）や保健医療サービスについて理解する。</li> <li>・保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。</li> </ul>						
科目名	就労支援サービス	社	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	石井浩		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解する。・就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解する。</li> <li>・就労支援分野との連携について理解する。</li> </ul>						
科目名	権利擁護と成年後見	社精	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	鷺野林平		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動と法（日本国憲法の基本原理、民法・行政の理解を含む）との関わりについて理解する。</li> <li>・相談援助活動において必要となる成年後見制度（後見人等の役割を含む）について理解する。・成年後見制度の実際について理解する。</li> <li>・社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</li> </ul>						
科目名	更生保護	社	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
			担当教員	木村隆夫		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。</li> <li>・更生保護を中心に、刑事司法や少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職について理解する。</li> <li>・刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。</li> </ul>						

## 【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント科目群】

科目名	福祉文化論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	小椋喜一郎		
<p>社会福祉の分野で、文化という言葉の定義は不十分である。しかしながら、文化を生活としてとらえるならば、介護保険法によって医療と福祉が同じ法体系の中に把握されようとしているとき、我が国における福祉文化の今をどう読み解くかの課題は大きい。ここでは歴史学を初めとして民俗学などさまざまな人文科学分野の成果を取り入れながら、社会福祉の分野における文化とは何か考えていく。また、近年施設の生活の中で、利用者若し職員とのコミュニケーションのギャップが生まれてきている。このような現状の中に、福祉文化を介在させることで、両者のギャップの解消を図ることも併せて意図している。</p>					
科目名	死とこころの科学	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	竹下隆		
<p>～死生学入門～ 人間は「死」を認識できる唯一の生物である。その認識する「こころ」が人間の「行動」を支配するのだが、長い間、「死」は単に意識の問題とされ、「生」に伴う「行動」を追及することが優先されてきた。そのタブー視されてきた死を、生と並立して同時に扱うことが普及してきたのは、脳と「こころ」の関係や、細胞や遺伝子の研究が大いに進展したことも原因となっている。死んで消滅する個体は単なる遺伝子の乗り物であると言いつつである。しかし最近、死を認識する「こころ」をも、又そこから出て来る「行動」をも支配する「生命」そのものの宇宙的、人間的意味が追求される。ターミナルケアや尊厳死、安楽死、脳死など生と死の関係をギリギリいっばいのところで結ぼうという時代になったからである。そこで、従来からの自殺、殺人、戦争などフロイトの未完成な「死の本能」論などにも思考範囲を広げながら、死に関係して作動する「こころ」の作用と行動の原理を、科学的な心理学思考で追求する。</p>					
科目名	生涯学習論	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	中川晴夫		
<p>生涯学習は、学習機会としては「生涯にわたる学習」(生涯継続学習)であり、学習目的としては「生涯のための学習」(生涯設計学習)である、という観点を重視する。その場合、生涯継続学習の基調は、人びとが生涯という時間を共有することの重要性、つまり世代共生の意義を教授することであり、生涯設計学習の基調は、人びとが生涯という空間を共有することの重要性、つまり地域共創の意義を教授することである。以上、世代共生と地域共創を中心に生涯学習論を展開する。</p>					
科目名	高齢者の心理	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	山口智子		
<p>急速な高齢化が進み、加齢に伴い知能は低下するのか、性格は変化するのかなど、高齢者の心理への関心が高まっている。また、高齢者支援において、高齢者個々人のニーズにこたえるためには、支援が必要な問題の理解(たとえば、認知機能のアセスメント)だけでなく、高齢者の性格、言動、経歴、家族関係などを含めた個人理解が必要である。 そこで、この科目では、高齢者の心理を理解する視点を学び、加齢によるさまざまな心理機能の変化を理解すること、老年期におこりやすい心理的問題(主に認知症について)を理解すること、高齢者に対する心理的援助方法を考えることを目標としたい。</p>					
科目名	スポーツマネジメント	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	松井健		
<p>本講義では、生涯スポーツ実践に関わる個人のマネジメントや国・地域・社会・企業などが連携して行うスポーツマネジメントについて解説する。前半の講義では、ライフサイクルに応じたスポーツ実践の考え方や具体的な方法について触れる。後半の講義では、スポーツを取り巻く社会環境について触れ、スポーツが果たす社会的役割について考察する。</p>					
科目名	福祉情報技術	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	中邑賢龍		
<p>アシスティブテクノロジー (Assistive Technology : 以下、AT) は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害を持つ人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自助具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、ATの役割でもあり、最近はコンピュータを利用した「e-AT (福祉情報技術 : 以下、e-AT)」も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、e-ATの概要を学ぶ。</p>					
科目名	リハビリテーション医学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	近藤克則		
<p>リハビリテーション (以下リハ) 医学には、従来の (疾患を対象とし、治癒を目的とした) 医学とは異なり、障害をも対象とし、「全人間的復権」(上田) を目的としているという特徴がある。現場での体験に乏しい学生諸君にも、具体的イメージが湧きやすいよう、総論と各論の両面から、具体的な症例や実践例を、ビデオなども用いて紹介する。 &lt;学習目標&gt; 1. 障害を持ちながらも“人間らしく生きること”を援助するリハ医学の理念を説明できる。 2. リハビリテーションに関わる福祉職と他職種の役割を説明できる。 3. P T ・ O T ・ S T とは何かを説明できる。 4. 脳卒中のリハを例に、リハビリテーションの流れを説明できる。</p>					

科目名	障害児心理学	単位数	2単位	科目形態	オンデマンド科目	
		担当教員	近藤直子			
<p>障害のある子どもが示す様々な問題（偏食・こだわり・多動等）にとりくむために、障害児の心理を理解する“手がかり”について学習する。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児の発達を援助するための制度・施策の基礎知識</li> <li>2. 現在とりくまれている障害児のための主な療育方法に関する知識</li> <li>3. 障害児の行動を理解するための視点</li> </ol>						
科目名	健康格差社会	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	近藤克則			
<p>本講義では、「健康・幸福に影響する社会的要因」の解明に取り組む「社会疫学 (social epidemiology)」が明らかにしてきたことを元に、私たちの健康・幸福 (well-being) がどのような要因によって決まるのか、日本にどの程度の「健康格差」が見られるのか、なぜ健康格差が生まれるのか、その背景や原因、プロセスを解き明かすこと、ストレスに満ちた社会をたくましく生き抜く方法を考えること、「健康によい環境」、それをつくるための社会（保障）政策の大切さについて考える。</p>						
科目名	シルバーファイナンス	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目	
		担当教員	川床憲一			
<p>シルバーファイナンスという言葉は聞きなれない単語であろう。直訳すると、「歳寄りの財政」とでもなるが、ここでは「高齢者に必要な金融の知識やそれに関連する税金、医療、保険、年金などの知識をトータルで身につける科目」と規定したい。</p> <p>「人生は有料道路」という言葉もあるが、生きている限り散財は避けられない。如何に上手に儉約するかも課題の一つである。儉約と吝嗇は違う。本科目で堂々と、そして楽しく儉約することを学んでほしい。</p>						
科目名	精神医学	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	岡田和史		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。</li> <li>・精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。</li> <li>・精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。</li> <li>・精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する。</li> </ul>						
科目名	精神保健学	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	触松克代		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について理解する。</li> <li>・現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>・精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。</li> <li>・国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。</li> </ul>						
科目名	精神保健福祉相談援助の基盤	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	行實志都子		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉士の役割（総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む。）と意義について理解する。</li> <li>・社会福祉士の役割と意義について理解する。 ・相談援助の概念と範囲について理解する。</li> <li>・相談援助の理念について理解する。 ・精神保健福祉士が行う相談援助の対象と相談援助の概要について理解する。</li> <li>・精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲について理解する。</li> <li>・精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。</li> <li>・精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。</li> </ul>						
科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	吉田みゆき		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医療の特性（精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む。）と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。</li> <li>・精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>・精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション（精神科専門療法を含む。）の知識と技術及び活用する方法について理解する。</li> </ul>						
科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
			担当教員	齊藤晋治		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者を対象とした相談援助技術（個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む。）の展開について理解する。</li> <li>・精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。</li> <li>・精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する。</li> <li>・地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク（地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む。）の実際について理解する。</li> <li>・地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援（地域精神保健福祉活動）の意義と展開について理解する。</li> </ul>						

科目名	精神保健福祉に関する制度とサービス <b>精</b>	単位数	4単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	宇都宮みのり		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の相談援助活動と法（精神保健福祉法）との関わりについて理解する。</li> <li>・精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について理解する。</li> <li>・精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。</li> <li>・更生保護制度と医療観察法について理解する。 ・社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する。</li> </ul>					
科目名	精神障害者の生活支援システム <b>精</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	青木聖久		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する。 ・精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する。</li> <li>・職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動（その他の日中活動支援を含む。）について理解する。</li> <li>・行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する。</li> </ul>					
科目名	ファイナンシャルプランニング総論 <b>A</b>	単位数	1単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>FP（ファイナンシャルプランニング）とは何か、FPの歴史と現状や社会的役割、手法と知識、諸領域、コンプライアンス等を学ぶ。また、ファイナンシャルプランナーの業務内容や進路、具体的なスキルの身に付け方についても学習する。FPの技術を活かせる業界やそれを取り巻く環境を知ることにより、ファイナンシャルプランナーとしてのキャリアイメージを明確にする。</p>					
科目名	金融資産運用設計 <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	栗本修己		
<p>個人のライフプランを実現するためには、財政上の裏づけとして資金が必要になる。必要な資金は具体的な金融商品で管理・運用する必要が生じるが、そのためには商品を選択するための周辺知識が必須となる。そこで、経済・金融動向の見方、預貯金、金融類似商品、投資信託、債券、株式、デリバティブなどの商品知識とともに、アセットアロケーション、ポートフォリオ、リスク分散の考え方を学び、金融資産の管理運用法を習得する。</p>					
科目名	不動産運用設計 <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>不動産は、生活の本拠として、あるいは資産として、ライフプラン上の重要な位置を占める。この科目では、不動産について、売買、貸借、所有、活用、投資など様々な場面で必要となる広範囲な知識を学習する。具体的には全体を3つの領域に分け、まず不動産の見方と不動産に関わる様々な法律の規定を、次いで不動産に関わる税金の種類と内容、不動産投資・有効活用の手法を学び、生活者が不動産と上手につきあっていくための実用知識を習得する。</p>					
科目名	ライフプランニングと資金計画 <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	加藤美晴		
<p>ファイナンシャルプランニングの中心的な科目である。学習領域は大きくライフプランニングとリタイアメントプランニングに分かれる。前者では、ライフプランニングの考え方、家計のキャッシュフロー分析手法に始まり、ライフプラン上の重要テーマである住宅資金設計、教育資金設計等について学ぶ。後者では、労働保険、医療保険、公的年金という各種の社会保障制度の仕組みを理解し、老後の資金設計の考え方を習得する。</p>					
科目名	リスク管理と保険 <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	加藤恵子		
<p>現代社会におけるリスクには様々なものがある。ファイナンシャルプランニングにおいては、それらのリスクに対して保険という手段を用いてリスクを移転するという保証・補償設計が必要となる。この科目では、その観点から、リスクマネジメントの考え方、保険制度、生命保険と損害保険の仕組み、それぞれの分野の具体的な商品の種類と内容を学び、保険を活用したリスクマネジメントの手法を習得する。</p>					
科目名	タックスプランニング <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	角田圭子		
<p>ファイナンシャルプランニングにとって、可処分所得を把握する上で税の知識は欠かすことができない。初めにわが国の税制を体系的に理解し、中でも個人のライフプランニングに欠かせない所得税を中心に、個人住民税、個人事業税、法人税、法人住民税、法人事業税、消費税等を学ぶ。特に所得税についての知識は重要であるため、その仕組みから、税額計算、申告納付までを体系的に学び、最終的には具体的な税額計算ができるようになるまで理解を深める。</p>					
科目名	相続・事業承継設計 <b>A</b>	単位数	2単位	科目形態	テキスト科目
		担当教員	林裕二		
<p>ライフプランの終着点である死亡時の財産処分と、それに伴う税務上の取り扱いを学習する。相続はすべての人に共通のライフイベントであるが、知識不足からトラブルになることが少なくない。そこで、まず相続人の範囲と相続分、相続を放棄する場合の手続き、遺言の作成方法など、民法の知識を学習する。また、遺産額が一定規模以上になると相続税が課税され、相続税対策が重要なテーマとなるため、相続税の基本的な仕組み、節税対策の考え方をあわせて学習する。</p>					

科目名	ファイナンシャルプラン作成 <b>A</b>	単位数	1単位	科目形態	オンデマンド科目
		担当教員	安藤朋子		
<p>FP（ファイナンシャルプランニング）実務において「商品」となる提案書（プラン）について、その意義と位置付けを理解し、ライフイベント表・キャッシュフロー表・バランスシートの作成、保険の見直しや資産運用の提案といった提案書の内容と作成手順を学習する。最終的には、与えられた課題に基づき、実際に提案書を作成し、提案書作成技術の習得を目指す。</p> <p>別途、設定する期間において「提案書」の提出による実技試験を行います。</p>					

## (2) スクーリング科目

スクーリング科目一覧は (P.119) を参照してください。

### 【基礎科目】

科目名	福祉経営序論 <b>必</b>	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	新谷司		
<p>通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体的見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求等々に向けての学習意欲を喚起する。</p>					
科目名	スタートアップセッション <b>必</b>	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	学習指導講師		
<p>学習を円滑に始められるように、学習方法や学習計画の立て方などについて学ぶ。</p> <p>講義目的は、以下の3つがあげられる。</p> <p>開講されている科目形態に応じた学習方法を理解する。</p> <p>単位修得までの一連の流れとして、テキストの読み方、オンデマンド講義の視聴方法、添削課題・小テスト・科目修了試験への取り組み方を知る。</p> <p>卒業までを念頭においた学習計画を立てる。</p> <p>正科生・特修生のみ履修可能</p>					
科目名	フォローアップセッション	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	学習指導講師		
<p>学習を進めるうえで分からないことを解決し、「どうやって学べばよいか」といった疑問を学友や学習指導講師とともに考え、学習のモチベーションアップを図る。</p> <p>講義目的は、以下の3つがあげられる。</p> <p>本学通信教育のシステムや教材を通じた学習方法を知る。</p> <p>学習上の不安を取り除き、学ぶ意欲やモチベーションの向上を図る。</p> <p>学びを仕事や生活に活かす方法を講師の体験談から学ぶ。</p> <p>正科生・特修生のみ履修可能</p>					
科目名	障害者スポーツ研究	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		学年配当	3年	担当教員	荒賀博志
<p>国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・振興を図るために、障害者スポーツの現状と課題を認識する。日本障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。</p> <p>正科生のみ履修可能（3年次配当）</p>					

**必**：必修科目です。オンデマンド科目、スクーリング科目のいずれかを履修してください。

## 【専門科目】

科目名	レポート・研究入門	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>職場の実践の理論化や批判的検証のために必要なレポート作成や、論文研究計画書を作成するための基礎知識として、福祉・医療分野の社会現象を研究課題に導き、適切な調査・研究方法を吟味するとともに、科学的で体系的な文章の書き方を学ぶ。福祉を学ぶということは、福祉を必要とする社会を学び、そこで暮らしを営む人間と多次元にわたる諸問題を学ぶことである。したがって、社会科学、人文科学や自然科学などの多様な理論や調査方法が必要となる。</p> <p>「論文作成基礎Ⅰ」や「論文作成基礎Ⅱ」を履修しようとする人にも基礎的な知識習得のための入門科目として履修を勧める。</p>					
科目名	論文作成基礎	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	穂坂光彦		
<p>第4学年で「研究論文指導」を履修して研究論文を作成しようとする人を対象に、事前準備として行う導入授業であり、論文執筆希望者には受講を推奨する。「研究論文指導」の履修にあたって重要なのは、新鮮な問題意識に基づく研究構想と、確かな方法論で組み立てられた「研究計画」すなわち1年間で論文を完成させるためのアクションプランである。「研究論文指導」履修希望者は第3学年の11月に研究計画を提出して、指導希望教員の審査を受ける必要がある。</p> <p>「論文作成基礎Ⅱ」では、やや枠を広げて必ずしも「研究論文」とはならず、各自の職場でレポートを作成する際の創造的な問題発見、テーマの定め方、論理的な思考の組み立て方から出発するが、さらに「研究論文」とはどういうものか、いかなる段階を踏んで執筆を進めるのか、研究計画作成に際して注意すべきことは何か、について、例をあげながら解説する。文献の探し方や入手法（とくに本学図書館データベースの学外からの使い方）についても具体的に講義する。最終的には、各自の研究課題が明確に設定されることを目標にする。</p> <p>なお「レポート・研究入門」スクーリングは、主として社会福祉領域の研究方法論の基礎を学びながら、やはり「研究論文指導」へと導くものなので、あわせて履修することを勧める。</p>					
科目名	論文作成基礎	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	穂坂光彦		
<p>第4学年で「研究論文指導」を履修して研究論文を作成しようとする人を対象に、事前準備として行う導入授業の続編である。「論文作成基礎Ⅱ」と同様に、たしかな研究計画を作成するノウハウを身につけることを目的とする。「研究論文指導」履修希望者は第3学年の11月に、(1)論文題目案、(2)研究の背景（問題意識）、(3)研究の目的、(4)既存研究の検討、(5)研究方法、(6)研究調査の日程等からなる研究計画を提出して、指導希望教員の審査を受ける必要がある。そこで「論文作成基礎Ⅱ」では、明快な研究計画の作成を目指して、演習形式を通じて実践性を高める。事前課題として各自が研究計画案を用意し、これについて相互に討論しあう。そのいくつかについては公開添削を行う。また修了生を招いて、論文作成の実際を経験共有する。</p> <p>講義では、論理的でインパクトのある文章の書き方、論文の執筆技法やルールについて解説する。なお「論文作成基礎Ⅱ」と「同Ⅰ」の内容は、一部互換される場合がある。「論文作成基礎Ⅱ」の履修は「同Ⅰ」の未修者にも開かれてはいるが、関連している科目なので、「同Ⅰ」の履修希望者は可能な限り「同Ⅰ」も履修しておくことが望ましい。さらに「レポート・研究入門」スクーリングは、主として社会福祉領域の研究方法論の基礎を学びながら、やはり「研究論文指導」へと導くものなので、あわせて履修することを勧める。</p>					
科目名	研究論文指導	単位数	4単位	科目形態	スクーリング科目
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<p>何らかの問題意識をもち、自らそのテーマに対して課題解決を追求する学生を対象とした科目である。担当する教員のもとで、それぞれのテーマの選択や内容についてアドバイスを受けながら、自らの課題となる分野を研究し、その結果を論文等の形にすることで課題解決にすすんでいく。この科目は、研究・調査、および論文作成に関する基本的な知識、技術をすでに取得していることを前提としており、論文等課題選考（口頭試問含む）の合格、一定数以上の単位修得を履修条件とする。なお、別途開講する「社会福祉調査論」「レポート・研究入門」「論文作成基礎Ⅰ」「論文作成基礎Ⅱ」を研究論文作成のための導入科目として位置づけており、必修ではないが本科目を履修するうえで、事前の履修を推奨する。</p>					

## 【専門科目：ビジネスマネジメント科目群】

科目名	日本企業の経営・会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	新谷司		
<p>株式会社の決算書の読み方について学ぶ。その上で日本を代表する大企業における経営と労働の現状と課題について複数の事例を通じて理解する。</p>					
科目名	ビジネス文書とプレゼンテーション	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	川床憲一		
<p>日本語は美しいが、複雑で難しい。まるで警戒心の強い孔雀のようだ。一方、その日本語を使用する「ビジネス文書」は、スリムなマラソン・ランナーのようでなければならない。つまり、不要な贅肉は徹底的にそぎ落としているが、必要な筋肉と骨格は十分に備えている、という姿である。次にプレゼンテーションである。これは、或る目的を実現するためのコミュニケーションの手段・技法、という意味である。この両者を併用すれば、「実務の現場」では鬼に金棒である。</p> <p>様々な組織で働く方々に、本科目で文章の筋トレとパワフルな説明力を身につけるための学習に取り組んで頂きたい。</p>					

## 【専門科目：コミュニティマネジメント・国際協力科目群】

科目名	地域再生	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	雨森孝悦		
日本では、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊や中山間地域の衰退などにより、地域再生や地域づくりが大きな課題となっている。ここでは、こうした問題の背景や性質について学び、豊かな地域を自分たちの手でつくるにはどうしたらよいかということについて考える。					
科目名	国際開発と貧困問題	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	雨森孝悦		
グローバル化が進展する一方で、世界には依然として貧困削減が大きな問題として横たわっている。この科目では、発展途上国における貧困の性質や貧困を減らしていくためのアプローチについて、ワークショップもまじえて具体的に検討するとともに、私たちの生活との関連について見ていく。					

## 【専門科目：医療・福祉マネジメント科目群】

科目名	福祉の歴史	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	浅井純二		
本講は、古代から近代までの社会福祉の歴史を通観する。社会福祉の歴史といえば、市販の多くのテキストは、明治以降から、記述される傾向がある。確かに権利としての社会福祉が確立されていない前近代は、社会福祉という言葉の持つ意味も異なってきた。しかし、明治以前の前近代の相互扶助や様々な救済制度が、現代の社会福祉と全く無関係ということもない。福祉とは、福も祉も「しあわせ」という意味がある。現代に生きる我々が、前近代に生きた人々から学ぶことは無数に存在する。例えば、江戸時代の視覚障害の人々はどうに生きてきたのであろうか。盲僧と呼ばれる人々が何故に存在したのであろうか。あるいは、当座制度は、視覚障害の人々にとってどんな救済となったのであろうか。さらに、こうした制度や救済から漏れてしまった人々はどうに生きてきたのであろうか。また、現代は格差社会と呼ばれセーフティネットの存在が危ういといわれる。我々は歴史から何を学ぶことができるのかを追求していく。なお、最近の受講生のなかには歴史的な用語がわからないために、講義内容がよく理解できない人もいる。歴史の基礎的理解があるか、それがない場合には事前に高校の日本史教科書を通読して受講されることを望む。					
科目名	社会福祉政策国際比較	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
～スウェーデンと日本の生活安全保障制度～ 経済や政治の国際化ならびに高齢化・少子化の本格化にともなって、先進諸国は経済政策、社会政策、環境政策の統合など一連の改革あるいは再編成を余儀なくされている。現代社会の変容に伴って人びとが遭遇する社会的事故は多様化し、日本の社会保障制度は生活安全保障という根幹的な機能を十分果たせなくなってきた。何故なのか？福祉国家スウェーデンの生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に考察する。ひいては、福祉国家とは何かその条件を明らかにし、福祉ミックス社会との類似性・差異を明確にする。					
科目名	社会福祉と権利擁護	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	矢野和雄		
権利擁護の意義についてはすでに広く認識されているところであるが、重要なことは、これをいかに社会福祉の現場で実践するかということである。本講義では具体的な法律・制度の枠組みを学びつつ実践的な権利擁護の行動規範のあり方の一例を検討する。					
科目名	社会福祉法人のマネジメントと会計	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	新谷司		
福祉事業の決算書の読み方について学ぶ。その上で福祉事業を行う法人の経営の現状と課題について複数の事例を通じて理解する。					
科目名	医療福祉システムの理論と実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩、人々の価値観及び生活スタイルの多様化などによって、人々を取り巻く医療福祉環境は目まぐるしく変化している。医療福祉システムをはじめ、日本の社会保障システム全体においては、日本経済の復興と共に発展し、医療福祉サービスを受けられる対象者の範囲が拡大し、サービスの量も多くなってきたが、今日は社会人口構成及び社会経済の変化によって、賦課方式をベースとする社会保障制度の維持は困難に直面している。さらに、医療福祉サービスの提供においては利用者本位のサービス提供が求められていると同時に、福祉サービスは措置制度から契約へと変わり、利用者にも応益負担を求める傾向がある。この講義では、昨今の医療福祉制度の仕組みや制度の創設の背景、制度の恩恵を受ける対象者、医療福祉サービスの提供者、医療福祉システムを支える財源などの視点から、医療福祉システムについて学習する。医療福祉分野の第一線で活躍している研究者や現場の専門家を招いたゲスト講義や分科会も行う予定である。					
科目名	医療福祉制度と暮らし	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
人は予期せずして病気にかかり、患者となって医療の需要が発生する。また、加齢あるいは障がいや疾病により、自力で生活が出来なくなるリスクも伴うのである。このように人の一生において、様々な医療サービス、福祉サービス、介護サービスを必要とする。これらの医療サービス、福祉サービス、介護サービスはどのような仕組みのもとで提供されているのか、これらのサービスの費用はどのように負担されているのか、どのように負担されるべきなのかについてデータや資料分析を通じて考える。さらに、これらのサービスの提供における法令順守の重要性や利用者の権利擁護、医療と福祉の連携及び昨今の医療福祉にかかわる社会問題についても議論を行う。					

科目名	地域医療と福祉の統合	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>少子高齢社会日本が現在直面する問題は、医療・介護ニーズの上昇し始める後期高齢者や認知症高齢者が確実に増加することである。また、障害者ケアにおいても障害者自立支援法により脱施設化が始まり、地域で生活を営む障害者が増えている。これらの人たちの自己決定による生活形成と完全な社会参加は医療と福祉の統合なしには不可能である。行政の縦割りのみならず、多様なサービス生産供給システムを特徴とする日本福祉ミックス社会の課題は多々であり、複雑である。20年一足先に高齢者・障害者ケアにおける脱施設化を図り、専門医療との連携による24時間の初期医療サービス供給を実現してきたスウェーデンの経験を基軸として、地域における医療と福祉の統合の課題と戦略を考察する。</p>					
科目名	ソーシャルワークと専門職	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	小松尾京子、田中和彦、明星智美		
<p>社会福祉の対象は、高齢者や障害者といった個々の対象者に限らず、低所得、虐待・暴力、犯罪・非行や社会的排除などの社会問題への広がりを見せている。今日のソーシャルワークは、何らかの事情で社会の中での生きづらさ（困難）を抱えていたり、社会から排除されている人びとと共に生きる社会の実現をめざしている。</p> <p>この科目の目的は、ソーシャルワークとは何かを、ソーシャルワークの知識、技術、価値についての基礎的な理解をとおして明らかにすることにある。また、ソーシャルワークの専門職としての社会福祉士の働きや今日の社会福祉士に求められている実践力とは何かを学ぶこととする。社会福祉士資格の取得を検討している方、すでに資格取得をめざしている方には受講してほしい。</p>					
科目名	介護ビジネス論	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	北村俊幸		
<p>介護の社会化が叫ばれてから十数年が経過し、高齢者介護分野においては2000年の介護保険法施行より、福祉・介護の世界は従来の社会福祉法人等のサービス提供から更なる民間活力導入という社会インフラが整備され、介護ビジネス、産業として成長・発展してきている。</p> <p>介護分野は制度ビジネス、擬似市場、労働集約型産業ともいわれ、福祉事業の一翼を担う一大産業となりつつも制度改革の影響を強く受けるビジネス領域である。さらには制度のみならず政府、政治、政権、社会保障システム等、幅広く全般の影響も多大な領域である。</p> <p>本科目は、介護ビジネスの特徴を踏まえた事業運営や人材育成、リスクマネジメントについて論じるとともに、医療、看護、福祉、介護の連携が叫ばれる中で単なるベンチャー（起業）や企業経営のみでない社会貢献や福祉という原点からの産業化、介護ビジネスとしてのあり方を問うものである。</p>					
科目名	子どもと青年の育ちの支援	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	木村隆夫		
<p>思春期、青年期になった子どもや青年は、無限の発達の可能性を持つと共に、成長発達の過程でさまざまな困難に直面し、時には、不登校、非行などの問題行動にすすむこともある。</p> <p>思春期、青年期の子どもや青年と向き合うには「子育て」という視点から「育ちの支援」という視点に切り替えなければならない。しかし、多くの親たちは、子育てへの不安や、世間の評価を気にするあまり、いつまでも過度に子どもに関わり、子どもの挑戦しようという意欲を抑え、結果として自立を妨げていることが少なくない。</p> <p>本科目では、学校教育現場での実践や、非行、不登校の子供を持つ親たちの自助グループからの報告を基にした事例研究を行うほか、ロールプレイングなどの疑似体験を行うなどして、子どもや青年の健全な成長発達を促す「育ちの支援」の在り方について考える。</p>					
科目名	社会保障の制度と課題	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	李忻		
<p>今日の社会保障制度の根本的な役割は、一生涯の各時期における所得保障及び各種の社会サービスの提供に大別することができる。本科目では、複雑かつ多岐にわたる所得保障の諸制度に焦点を合わせ、例えば、高齢期の所得保障としての公的年金、仕事を失った時の所得保障としての失業給付、疾病や怪我などによって仕事を休んだ時の傷病手当、また、労働災害が起きてしまった場合の所得保障について、これらの制度の基本的な仕組みについて学習する予定である。これらの諸制度の基本的な仕組み、制度の改正及び課題について理解することを本科目の狙いとする。</p>					
科目名	認知症ケアとスーパービジョン	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>認知症ケアに携わる介護職員には、専門知識や対応法において高い質が求められる。認知症の人の多様な問題行動の背景にあるのが、自我機能の変化である。実践を確かなものにし、最善のケアを提供するには、まず認知症の人の自我機能の変化を理解し、内包する多様な能力を総合的に見ることが必要である。精神的な負担の重い介護職員にとっても、自らの自我機能を分析することが重要となる。次に必要なのが、介護職員が専門的な判断能力、処遇・援助技術の向上、適切な態度や職業倫理を習得することを目的としたスーパービジョンである。実践内容に基づいたスーパービジョンは、実践の理論化や向上を図るとともに、介護職員の人間発達や燃え尽き症候群を予防する。本科目の目的は、自我心理学の基礎知識とともに、認知症分野に焦点をおいたスーパービジョンの理論と手法の基礎知識を修得することにあるが、ここで学ぶスーパービジョンの基礎知識は、認知症分野のみならず、他の介護分野のスーパービジョンにも適用が十分可能である。</p>					
科目名	ケアマネジメント入門	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	調整中		
<p>本講義は、「介護」の基本的考え方を学び、国際生活機能分類（ICF）モデルなど諸理論に基づく介護の展開実践を取得する。また、これまでのケアワークの概念にとどまらず、ヘルス・ソーシャルケアという広義的ケアシステム構築について学び、介護の社会化にともなう医療・保健・福祉のパートナーシップについて探求していく。</p> <p>さらに講義を通して「命題的理論と実践的理念」の融合を目指し、エビデンスに基づいた介護技術の習得を目指していくため、特に認知症高齢者、医療的ケアの必要な障がい者、発達障害などの理解を深め、支援や処遇のあり方について学んでいく。</p>					



科目名	高齢者福祉分野の経営戦略	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	田島誠一		
<p>1. 医療・福祉分野における経営環境は、関連法の改正に伴う収益性の悪化、競争の激化等々著しく厳しさを増しつつある。この難局を乗り切ったものだけが生き残り他は市場から退出しなければならない。総論…経営戦略論</p> <p>2. 本講座は机上理論ではなく企業経営、福祉施設経営の実務家による実践的経営戦略の構築と実践を本講座のポイントとしている。各論…具体的な経営戦略の構築</p> <p>3. また、同時に現在特に必要とされている福祉関連企業の経営幹部の養成もあわせてポイントとしている。実践論…具体的なケースにもとづく実践論</p>					
科目名	福祉現場の人材養成	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	調整中		
<p>1990年代の社会福祉基礎構造改革以降、福祉施設の運営は大きく様変わりしてきた。その中で介護・支援職員も専門職として多くの役割を担わなくてはならない。一方、福祉職員の離職率は高く、メンタル面での疾病も多くある。福祉専門職は感情労働であり、職員個々のストレスケア、継続的な職員のケア、チームの構築などが不可欠である。介護や支援の現場で、職員がどこでつまずき、どのように解決していくかを現場レベルで検証していくことが重要である。本講義では、福祉の命題的理念と実践的理念の融合を目指し、職員をどのように養成していくか、また専門職としてのキャリアアップについて事例を通して学習していく。</p>					
科目名	スクールソーシャルワークと学校現場	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	安藤健一		
<p>子どもたちは学校や家庭での生活のなかで、困難な状況に直面することがある。いじめや不登校、人間関係づくりなど様々な場面での困難状況において、子どもの立場に立って解決に取り組む支援システムがスクールソーシャルワークである。社会福祉専門職の立場で、子どもたちの支援に携わることは、子どもの福祉を考える意味で、意義深いものである。</p> <p>本科目では、学校教育におけるスクールソーシャルワーク制度や現状を学び考える。また、それだけでなく、現場でのスクールソーシャルワーカーの実践に関する報告、また、同じ現場で活躍する他職種（スクールカウンセラー等）からの実践報告等をもとにした事例研究も行い、ソーシャルワークと子どもたち、そして教育の場で展開される「子どもへの支援」について考えることとする。</p>					

## 【専門科目：ヘルスケア・ライフマネジメント科目群】

科目名	精神障害者と福祉実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
<p>現代社会において、精神障害を有する、ということは決して一部の人の問題ではない。そして、例えば自分が精神障害者、あるいはその家族になったとしても胸を張って暮らせる社会、が真のノーマライゼーション社会ともいえる。このようなごく当たり前の社会のあり方を目指し、実践するのが精神保健福祉士（PSW）である。この科目では、精神障害者が暮らす社会の現状及びPSWが実践する中身について紹介することを通して「自分たちができること」について一緒に考えていきたいと思う。なお、PSW資格について検討している方、及び既に目指している方は必ず受講してもらいたい。</p> <p>この科目を受講する方は、以下の文献を前もって読んでおいてほしい。 『精神保健福祉士（PSW）の魅力と可能性』やどかり出版</p>					
科目名	精神障害者と福祉実践	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	青木聖久		
<p>この科目は「精神障害者と福祉実践」の発展科目である。したがって、精神障害者理解、精神保健福祉士（PSW）をはじめとする福祉実践、についての基本的理解を前提として授業をすすめる。そして、受講している皆さんが「社会経験を活かすことにより、社会で皆さん自身が活かされること」について考えていきたい。具体的には、皆さんが「明日、PSWになったとしたら」ということを想定して、様々な角度から、多様な方法（感性溢れる方からの話等）を用いて精神障害者支援について深めていきたい。この授業を通して、「PSWの専門性について理解が深められた」「PSWの可能性を感じた」「人間が本来大切にすべきことについて、福祉実践を通して認識することができた」ということ等を目指したい。</p> <p>なお、PSW資格取得をする方には、ぜひとも受講してもらいたい科目である。</p> <p>この科目を受講する方は、以下の条件を満たしていることが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神障害者と福祉実践」を履修済（予定を含む）であること。</li> <li>・以下の文献を前もって読んでおくこと。 『社会人のための精神保健福祉士（PSW）』学文社</li> </ul>					
科目名	障害者政策と自立支援	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>～スウェーデンと日本の類似性と差～</p> <p>2006年4月から、就労および地域生活を進め自立を支援するという障害者自立支援法が施行された。他の先進諸国より一足先に、すべてのケア分野における脱施設化を遂行し、障害者の経済的・社会的自立を図ったのが福祉国家スウェーデンである。スウェーデンの経験が示すのは、脱施設化とは単に施設を全廃し、雇用を割り当て、グループ住宅を建てれば障害者の自立した地域生活が実現するものではないことである。教育、就労、家族、余暇などの生活全分野における自立を実現するには、何が必要とされるのか？スウェーデンの普遍的な社会政策と連動した障害者政策の経験を学び、自立支援法を批判的に考察する。</p>					
科目名	高齢者の財産管理	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>高齢者福祉において、自己決定の尊重は重要な課題となる。ライフプランは自己決定の表現である。ライフプランを実現するためには、もちろん財政上の裏付けが必要であるが、判断能力が不十分となった人は、いくら財産があっても活用できないことも多い。現に福祉の現場では、本人のために必要な場合であっても、権限がないため適切な対応ができないという問題も発生している。本科目では、真に自己決定を実現するためのライフプランニングと財産管理のあり方について、成年後見制度や信託の活用を含めて考察し、併せて自己決定に基づく財産の承継方法にも言及する。</p>					

科目名	超高齢社会と老後リスク管理	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	川床憲一		
<p>～とりわけその財政的基盤強化に向けて～</p> <p>わが国は既に超高齢化社会に突入しているが、その動きは歴史先例を見ないものである。即ち、その到達するであろう高齢化率の高さと、スピードの速さである。加齢の学問として、施者側の論理としてジェロントロジーが注目を浴び始めているが、本科目では、逆に当事者の側にたった老後人生のマネジメントの方法を学ぶことを目的とする(AgedLifeManagement)。特に、健康で生きがいのある老後の大前提である、財政リスクに備える対策を主柱に据えて論を展開する。</p>					
科目名	福祉とテクノロジー活用	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	山田栄子		
<p>～福祉分野におけるテクノロジー活用～</p> <p>障がいのある人や高齢者の自立した生活を助ける電子情報支援技術(e-AT)とコミュニケーション支援技術(AAC)について、実践・事例を交えつつ、基礎的な内容からやや専門的なところまでを解説する。その上で、生活を豊かにするという視点で福祉分野におけるテクノロジー活用のあり方について考えていく。</p>					
科目名	痛みとリハビリテーション	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	松原貴子		
<p>痛みは老若男女を問わず、多くの疾患に伴う症状である。痛みとは体に生じた損傷等を知らせる警告信号であり、その警告が生態防御系を賦活する。このような急性痛は生体にとって必要不可欠な感覚である。一方、損傷が明らかでないにもかかわらず痛みが続く慢性痛は警告信号の意味をなせず、無用の産物であるが、未だ完全な治療法の確立にいたっていない。近年、慢性痛に対するリハビリテーションの有効性が世界的に注目され始めている。本講義では痛みの病態からリハビリテーション等の対処法まで、最新トピックスを含めて説明する。</p>					
科目名	ユニバーサルデザインと暮らし	単位数	1単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	星川安之		
<p>私たちの暮らしの中に、「ユニバーサルデザイン」という言葉が浸透し、最近各分野において、ユニバーサルデザインの視点からの設計や基準の見直しが生み出されてきている。</p> <p>しかし、福祉分野では、その考え方が大切で、かつ応用できる工夫や製品が数多くあるにも関わらず、見過ごされてしまっているケースがある。この講義では、ユニバーサルデザインおよび関連する概念を学ぶとともに、ユニバーサルデザインが人々の暮らしに与える効果・意義について考える。</p>					
科目名	長寿社会のライフプラン	単位数	2単位	科目形態	スクーリング科目
		担当教員	鈴木克昌		
<p>人生90年の時代を迎え、この長寿社会の中で安心して老後の生活を送るためには、財政面を考慮したライフプラン(生涯生活設計)が必要不可欠になっている。老後生活を支える土台となる社会保険制度、とりわけ公的年金制度の現状を踏まえてライフプラン上の課題を把握するとともに、具体的なライフプランニングの手順と方法を習得する。</p> <p>また、ライフプランを実現するためのファイナンシャルプランの重要性を理解し、保険の見直し、資産運用、相続対策といったファイナンシャルプランニングの基本的な考え方と手法を学ぶことで、受講者自身の生活に役立ててもらうことを目指す。なお、オンデマンド科目「ファイナンシャルプラン作成」の履修者には、提出課題である提案書作成のための参考にしてもらいたい。</p>					

## 【フィールドスタディ科目】

科目名	スウェーデン研修	単位数	4単位	科目形態	スクーリング科目 フィールドスタディ科目
		担当教員	訓覇法子		
<p>現代社会の変容に伴って人々が遭遇する社会的事故は多様化し、生活の安全が脅かされる。私たちの生活の根幹に関わる政策が、貧困縮小や生活の安全・向上を目的とする社会政策である。社会政策を国際的視点から見ると、選別的最低限保障を基礎とする日本の社会保障制度と異なり、スウェーデンは普遍的スタンダード保障を原則とする数少ない国のひとつである。福祉国家とは何か？特に、教育、労働、家族という基本的な生活ニーズの充足という観点から、スウェーデン社会はどのように構築され、どのように機能するのか？事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによってスウェーデン福祉国家を考察する。同時に、スウェーデン福祉国家の生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に検証する。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会政策に関する基本的な知識を国際的視点から修得する。</li> <li>2. スウェーデンと日本の比較を通して、国際比較手法に必要な知識を修得する。</li> <li>3. 見学や現地の人々との交流によって、スウェーデンの生活習慣や政治文化などを学ぶ。</li> </ol> <p>履修要件(指定スクーリングの受講、課題図書を読了等)および課題選考があります。詳細は、入学後にご案内する「スウェーデン研修募集要項」をご確認ください。</p>					

## (3) 資格科目 (演習・実習科目)

## 【社会福祉士国家試験受験資格】

科目名	相談援助演習	社	単位数	2単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の科目学習で学んできた知識と関連して学習し、相談援助実践の知識・技術・価値を理解する。</li> <li>・援助専門職をめざす自己について洞察し、自己覚知を深める。</li> <li>・実践の場にふさわしいコミュニケーション技術を習得する。</li> <li>・相談援助における基礎的な面接技術を体得する。</li> <li>・学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。</li> </ul>						
科目名	相談援助演習	社	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助の知識と技術を実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。</li> <li>・相談援助のプロセスとそこで求められる知識の活用や技術、専門職としての倫理や態度を表現する力の涵養。</li> <li>・総合的かつ包括的な援助や地域福祉の基盤整備と開発、社会資源の活用・調整・開発の技術を実践的に学び、地域で働く社会福祉士の役割を理解する。</li> </ul>						
科目名	相談援助演習	社	単位数	4単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・援助活動におけるさまざまな課題に対する総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。</li> <li>・人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できる態度を身につける。</li> <li>・実習等における個々の実践を一般化し、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。</li> <li>・実習事例を活用し、地域の社会資源の実際や医療・福祉マネジメントの実際を学び、地域におけるネットワーク形成の方法や技術を体得する。</li> </ul>						
科目名	相談援助実習指導	社	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	3年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習と相談援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義を理解する。</li> <li>・相談援助実習に必要な倫理や態度、相談援助に関する知識と技術を理解する。</li> <li>・実習先に関する基本的な理解(施設・事業者・地域社会等に関する理解)を進め、実習先で行なわれる相談援助業務や関連業務を理解する。</li> </ul>						
科目名	相談援助実習指導	社	単位数	3単位	科目形態	テキスト・スクーリング併修科目(クラス制科目)
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習を通じて、大学で学んだ知識、援助技術等を具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> <li>・相談援助専門職としての自覚を促し、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。</li> </ul>						
科目名	相談援助実習	社	単位数	4単位	科目形態	実習科目
			学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習を通して、社会福祉士に必要な相談援助に関する「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。</li> <li>・「専門知識」「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を体得する。</li> <li>・職業倫理や自己の課題を把握する力を身につけ、相談援助専門職としての自覚に基づいた行動ができるようにする。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し、体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> <li>・関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を実践的に理解し、医療・福祉マネジメントを担う能力・技術を体得する。</li> </ul>						

## 【精神保健福祉士国家試験受験資格】

科目名	精神保健福祉援助演習 <b>精</b>	単位数	6単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目 (クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いること。</li> <li>・個別指導並びに集団指導を通して、地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談事例を体系的にとりあげること。</li> </ul> <p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。</li> <li>・個人指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により行うこと。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉援助実習指導 <b>精</b>	単位数	6単位	科目形態	テキスト・スクリーング併修科目 (クラス制科目)
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習の意義について理解する。</li> <li>・精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。</li> <li>・精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。</li> <li>・精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</li> <li>・具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> </ul>					
科目名	精神保健福祉援助実習 <b>精</b>	単位数	5単位	科目形態	実習科目
		学年配当	4年	担当教員	(調整中)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習を通して、精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。</li> <li>・精神保健福祉援助実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。</li> <li>・精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</li> <li>・総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。</li> </ul>					